

この章でおこなうこと

Windows2000 を搭載したパソコンを使って、インターネットに接続するための設定をおこないます。

3.1 モデムを使えるようにします

- Step 1** モデムを取り付ける前に 33 ページへ
- Step 2** モデムを取り付ける 35 ページへ
- Step 3** モデムのドライバをインストールする 39 ページへ
- Step 4** モデムが正常に動作しているか確認する 42 ページへ

3.2 インターネットに接続します

- Step 5** インターネットに接続する 44 ページへ
- Step 6** 最大データ転送速度を確認する 45 ページへ

ADSL 回線を使用して、パソコンからインターネットに接続する手順は、以下の通りです。

モデムを使えるようにします

(33ページ～)

Step 1

パソコンのドライブ構成と USBポートが正常に動作しているかを確認します。

Step 2

パソコンにモデムを取り付けます。

Step 3

パソコンに、モデムのドライバをインストールします。

Step 4

モデムが正常に動作しているか確認します。

インターネットに接続します。

(44ページ～)

Step 5

インターネットに接続します。

Step 6

ADSL回線の最大データ転送速度を確認します。

3.1 モデムを使えるようにします

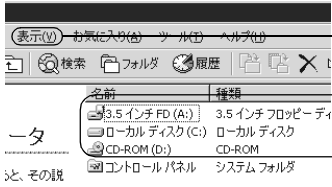
ADSL 回線を使用してインターネットに接続するために、モデムを取り付けます。

Step 1 モデムを取り付ける前に

ドライブ構成の確認


モデムを取り付けるパソコンのドライブ構成を、次の手順で確認してください。

- 1 パソコンの電源スイッチを ON にして、パソコンを起動します。
アドミニストレータ権限を持ったログイン名(administrator 等)でログインします。
- 2 デスクトップ画面の [マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックします。

- 3  **1 選択** [表示]メニューから[詳細]を選択します。
2 確認 表示されるドライブ名を確認します。

ここで表示された各ドライブ名は、以降の手順で必要になりますので、下の表にメモしておいてください。

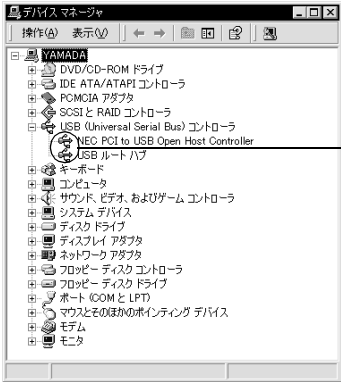
お使いのパソコンのドライブ構成は？


ドライブの種類	アイコン	ドライブ名(例)
3.5 インチフロッピーディスク		(A:)
ハードディスク (ローカルディスク)		(C:)
CD-ROM		(D:)

USB ポートの確認

モデムを取り付けるパソコンの USB ポートが正常に動作していることを、次の手順で確認してください。

- 1 デスクトップ画面の [マイコンピュータ] アイコンにマウスのカーソルを合わせ、右ボタンをクリックします。
[プロパティ] をクリックします。
- 2 [ハードウェア] タブの [デバイスマネージャ] をクリックします。
- 3 [ユニバーサルシリアルバスコントローラ] の「+」をクリックします。

- 4  **1 確認** [ユニバーサルシリアルバスコントローラ] の中に表示されるアイコンに×がついていないことを確認します。

 表示されるユニバーサルシリアルバスコントローラの名称は、パソコンの機種によって異なります。

×がついていなければ、USB ポートは正常に動作しています。

USB ポートが正常に動作していない場合

×がついているときは、次の手順をおこなって、USB ポートの設定を変更してください。次の手順をおこなっても×が表示される場合は、お使いのパソコンメーカーにお問い合わせください。

- 1 ×がついているアイコンにカーソルをあわせ、右ボタンでクリックします。
- 2 [有効] をクリックします。

△注意 「ユニバーサルバスコントローラ」が表示されていないときは、BIOS で USB ポートが無効に設定されています。設定を変更し、有効にしてください。設定方法は、お使いのパソコンメーカーにお問い合わせください。

Step 2 モデムを取り付ける

モデムは、パソコンの電源を ON にした状態で抜き差しができます。

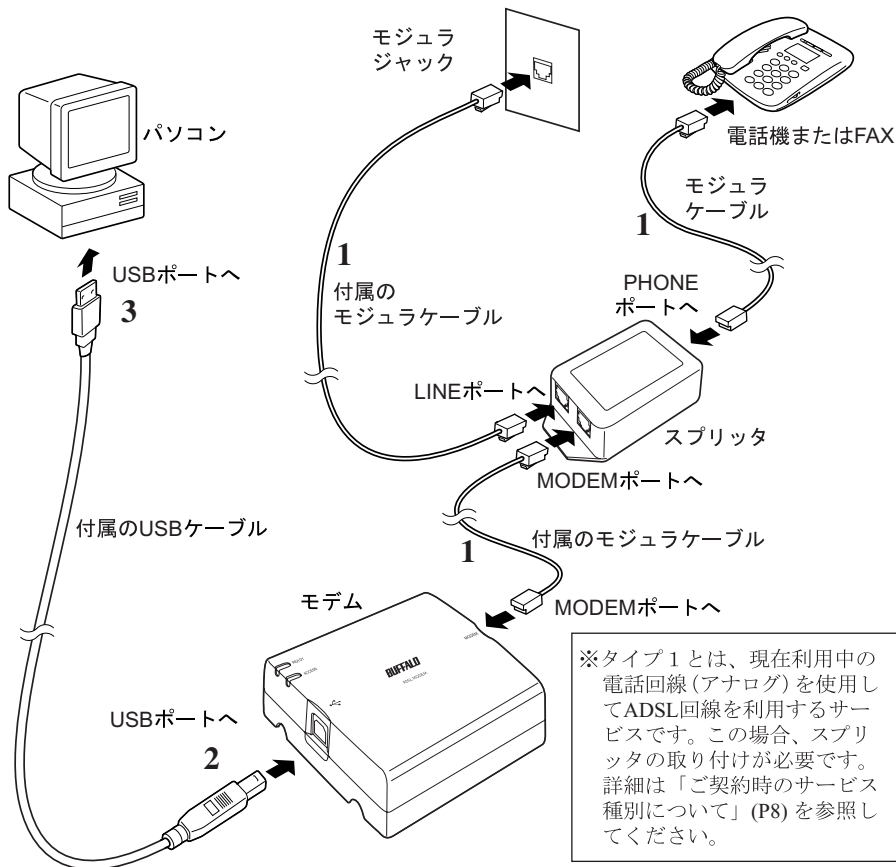
△注意 取り付け時の注意

- パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、それぞれ付属のマニュアルに記載されている方法でおこなってください。
- 各種コネクタのチリ、ホコリなどは取り除いてください。
- モデムおよび付属の USB ケーブルのコネクタ部分には手を触れないでください。
- モデムをパソコンに取り付けるときコネクタの向きに注意してください。無理に押し込むとコネクタが破損する恐れがあります。
- モデムは、パソコンのUSBポートに直接接続して使用することを推奨します。

パソコンへの取り付け

モデムをパソコンに取り付けるときは、次の方法に従ってください。

《タイプ1 のサービス種別の場合》



△注意 スプリッタは、保安器と直結で接続してください。保安器とスプリッタの間に分配器等が入ると、電話機などにノイズが入ることがあります。ホームテレホン/セキュリティシステム/ LCR を利用している場合は、メーカーまたは設置業者にお問い合わせください。ガス検知器を利用している場合は、NTT 地域会社やガス会社にお問い合わせください。

通常、各家庭などの壁にあるモジュラジャックは、屋外に設置されている保安器に接続されています。設置業者に依頼したり、アナログ工事担任者の免許を持っていれば、保安器から分岐して複数のモジュラジャックを宅内へ設置することが可能です。このように分岐した場合、壁のモジュラジャックにスプリッタを直接接続しても、他の壁のモジュラジャックへノイズが流れてしまいますので、ホームテレホン / セキュリティシステム / LCR / ガス検知器などのサービスを受けられなくなる可能性があります。

❏メモ 別売りの USB ケーブルを使用する場合は、ケーブル長が 5m 以内の USB ケーブル (USB 規格 Revision 1.1) を使用してください。

1 壁のモジュラジャックからモジュラコードをはずし、スプリッタの PHONE ポートに接続します。

2 モジュラケーブル 2 本を使って、次のように接続します。

- ・スプリッタの LINE ポート - モジュラジャック
- ・スプリッタの MODEM ポート - モデムの MODEM ポート

❏メモ 設置場所までの距離に応じて、適切な長さのモジュラケーブルを使い分けて接続してください。別売りのモジュラケーブルを接続する場合は、必ず 2 線式のものを使ってください。

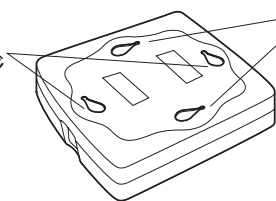
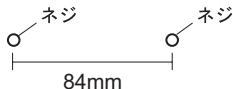
3 パソコンの電源を入れ、起動完了後に、付属の USB ケーブルの正方形のコネクタ (B タイプ) をモデムの USB ポートに接続します。

4 付属の USB ケーブルの長方形のコネクタ (A タイプ) をパソコンの USB ポートに接続します。

- ❏メモ
- ・モデムの裏面には磁石がついているため、スチール製デスクの側面など金属部分にくっつけて設置することができます。
 - ・モジュラケーブルが長くて邪魔な場合は、スプリッタの裏面に巻きつけると便利です。

❏メモ モデムの背面にはネジ穴があり、壁にかけて設置することができます。縦方向 / 横方向どちらでも設置できます。

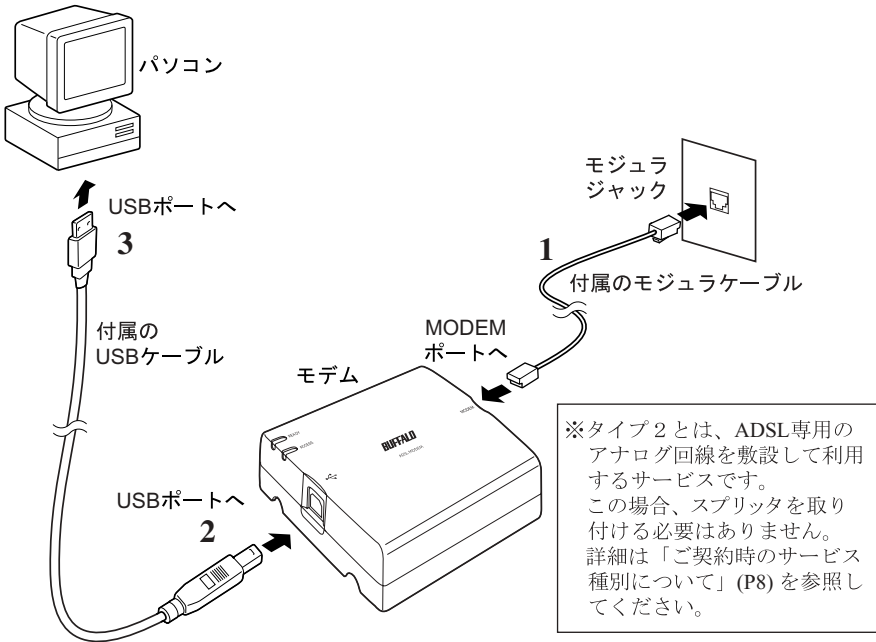
《モデムを横向きにして壁にかける場合》
壁に84mm間隔で添付のネジを取り付け、この2つのネジ穴を引っかけて設置します。



《モデムを縦向きにして壁にかける場合》
壁に72mm間隔で添付のネジを取り付け、この2つのネジ穴を引っかけて設置します。



〈タイプ2 のサービス種別の場合〉



モ 別売のUSBケーブルを使用する場合は、ケーブル長が5m以内のUSBケーブル(USB規格 Revision1.1)を使用してください。

1 付属のモジュラケーブルを使って、壁のモジュラジャックとモデムのMODEMポートを接続します。

モ 本製品添付の2本のモジュラケーブルのうち、できるだけ短い方をお使いください。

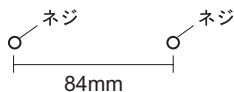
2 パソコンの電源を入れ、起動完了後に、付属のUSBケーブルの正方形のコネクタ(Bタイプ)をモデムのUSBポートに接続します。

3 付属の USB ケーブルの長方形のコネクタ (A タイプ) をパソコンの USB ポートに接続します。

メモ モデムの背面にはネジ穴があり、壁にかけて設置することができます。縦方向 / 横方向どちらでも設置できます。

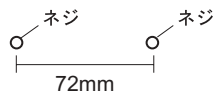
《モデムを横向きにして壁にかける場合》

壁に84mm間隔で添付のネジを取り付け、この2つのネジ穴を引っかけて設置します。



《モデムを縦向きにして壁にかける場合》

壁に72mm間隔で添付のネジを取り付け、この2つのネジ穴を引っかけて設置します。



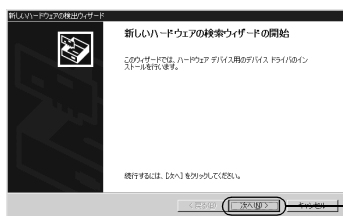
Step 3 モデムのドライバをインストールする

注意 ドライバのインストールをおこなう前に、ドライブ構成の確認 (P33) をおこなってください。

また、パソコンの USB ポートが正しく動作していることを確認してください。(P34)

メモ パソコンの電源が OFF になっている場合は電源を ON にして、アドミニストレータ権限を持ったログイン名 (Administrator 等) でログインします。


1 モデムが認識され、「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されます。



1 クリック [次へ] をクリックします。

次ページへ続く

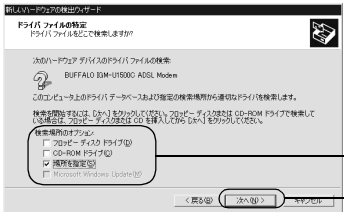
2



1 選択 モデムが「ADSL G.lite to USB Modem」として認識されたら、「デバイスに最適なドライバを検索する」を選択します。

2 クリック [次へ] をクリックします。

3

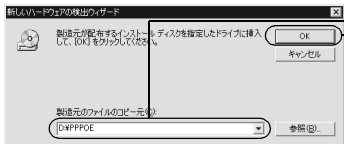


1 選択 「検索場所のオプション」を下記のよう
 様に選択します。
 フロッピーディスクドライブ：
 チェックしません
 CD-ROM ドライブ：
 チェックしません
 場所を指定：
 チェックします

2 クリック [次へ] をクリックします。

4 「IGM-U1500C ドライバ CD」を CD-ROM ドライブに挿入します。

5



1 入力 ご利用の環境に応じてパス名を入力
 します。
 PPPoE の場合：
 (CD-ROM ドライブが D ドライブ
 の場合)「D:¥PPPOE」と入力し
 ます。
 PPPoA の場合：
 (CD-ROM ドライブが D ドライブ
 の場合)「D:¥PPPOA」と入力し
 ます。
 アッカ・ネットワークスの場合：
 「D:¥ACCA¥PPPOA」と入力し
 ます。

2 クリック [OK] をクリックします。

ご利用の環境は、契約しているプロバイダによって異なります。別紙『ADSL 接続
 によるインターネットご利用開始までの流れ』の「ADSL 回線提供者 使用ドラ
 イバ一覧表」を参照してください。

6

1 確認 インストールされるドライバ名を確認します。

2 確認 入力したパス名に応じたドライバ名が表示されていることを確認します。

3 クリック [次へ] をクリックします。

入力したパス名によって、インストールされるドライバが下記のように異なります。

¥PPPOE の場合： BUFFALO IGM-U1500C ADSL Modem(PPPoE)

¥PPPOA または ¥ACCA¥PPPOA の場合：
BUFFALO IGM-U1500C ADSL Modem(PPPoA)

7

1 クリック 「BUFFALO IGM-U1500C ADSL Modem(xxxxx)」と表示されたら、[はい] をクリックします。

「Windows で正しく動作することは保証されません。」と表示されますが、動作確認は弊社でおこなっております。

そのまま、[はい] をクリックして、インストールを続行してください。

8

1 クリック [完了] をクリックします。

これで、モデムのドライバのインストールは完了です。

続いて、次のステップへ進み、モデムが正常に動作していることを確認します。

メモ 「新しいモデムのインストール」画面が表示されたときは、[キャンセル] をクリックして画面を閉じてください。

☞ モデムを取り外すときは

Windows2000 の動作中にモデムを取り外すときは、次の手順に従ってください。

- 1 タスクトレイにある「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」アイコンをダブルクリックします。

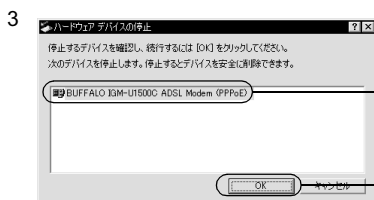


1 選択

「BUFFALO IGM-U1500C ADSL Modem(xxxxx)」を選択します。

2 クリック

「停止」をクリックします。



1 確認

「BUFFALO IGM-U1500C ADSL Modem(xxxxx)」が表示されていることを確認します。

2 クリック

「OK」をクリックします。

- 4 「BUFFALO IGM-U1500C ADSL Modem(xxxxx) は安全に取り外すことができます。」のメッセージが表示されます。



1 クリック

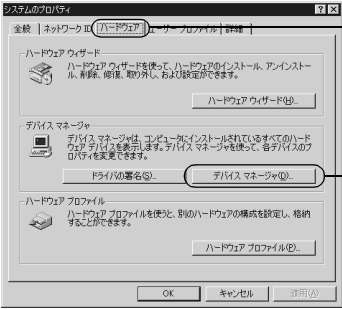
「OK」をクリックします。

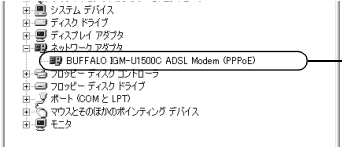
- 5 モデムを取り外します。

Step 4 モデムが正常に動作しているか確認する

モデムのドライバのインストールが完了したら、次の手順に従って、モデムが正常にインストールされていることを確認します。


- 1 「スタート」 - 「設定」 - 「コントロールパネル」を選択します。
- 2 「システム」アイコンをダブルクリックします。

- 3  **1 クリック** [ハードウェア]タブをクリックします。
- 2 クリック** [デバイスマネージャ]をクリックします。

- 4  **1 確認** [ネットワークアダプタ]の下に、「BUFFALO IGM-U1500C ADSL Modem(xxxxxx)」と表示されていて、×や!がついていないことを確認します。

×や!がついているときは、「第4章 困ったときは」の「モデムのドライバを削除したい」(P49)を参照してドライバを削除した後、再度インストールをおこなってください。

- 5 [スタート] - [ファイル名を指定して実行]を選択します。
- 6 「Xpinit」と入力して、[OK]をクリックします。
- 7 モデムのモニタ画面が表示されます。

-  **1 確認** 「モデム状態」が「通信可能」になっていることを確認します。

注意 パソコンの起動後、30秒以上経過しても「通信可能」と表示されないときは、モジュラケーブルの接続が正しいか確認してから、契約しているプロバイダまたは弊社インフォメーションセンターへお問い合わせください。


3.2 インターネットに接続します

Step 5 インターネットに接続する


下記の手順でインターネットに接続します。


- 1 デスクトップ上の「IGM-Connect」アイコンをダブルクリックします。




- 2  **1入力** プロバイダから指示された「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。
(契約後、プロバイダから送られてくる資料を参照してください)
2クリック [接続] をクリックします。

- 注意**
- ・ 「ユーザー名」「パスワード」を入力するとき、大文字・小文字に注意してください。
 - ・ プロバイダによっては、「ユーザー名」に「プロバイダから指定されたユーザー名@プロバイダの識別名」を入力する必要があります。

- 3  **1クリック** 「接続が完了しました」と表示されたら、[閉じる] をクリックします。

- 4  **1クリック** 回線を切断したいときは、[切断] をクリックします。

- 5 タスクバーに登録された「BUFFALO Diag 」をダブルクリックして、モニタ画面を表示します。

6  **1 確認** モニタ画面の表示が、下記の状態になっていることを確認します。

モデム状態 : 通信可能
ネットワーク状態 : 認識中


インターネットに接続されました。


Step 6 最大データ転送速度を確認する

実際にインターネットにつなげて、正常に ADSL 回線が使用できているか確認をおこないます。

接続速度の確認

実際に接続されている回線速度を調べます。

1  **1 クリック** タスクバー内の「ダイヤルアップアイコン」にマウスのカーソルを合わせ、ダブルクリックします。

2  **1 確認** 表示された画面内のデータ転送速度を確認します。通常、655,360bps 以上の速度が表示されます。(1.5Mbps サービスの場合)

接続		接続
状態		接続
接続時間		00:07:49
速度		14 Mbps

動作状況			
	送信	受信	受信
バイト	18,813		308
圧縮	0 %		0 %
エラー	0		0

△注意 データ転送速度とは、実際にデータを転送する際の限界速度のことです。

接続速度が確認できたら、モデムの設置は終了です。

※ 通信速度については、お客様が契約されている通信業者にお問い合わせください。
なお、データ転送速度は環境によって変化する場合がありますので、何度か接続して確認されることをお勧めします。

MEMO